

令和5年3月22日

## 趣旨（※該当する全てにチェック）

- 各種資料や情報提供  
イベント・会議等の案内  
その他（ ）

発表事項	<b>纏向学セミナーを1冊にまとめた書籍『纏向学からの発信』が刊行されました</b>
内容	<p>桜井市では平成24年4月1日、纏向遺跡の調査研究や保存活用・情報発信の拠点として「桜井市纏向学研究センター」を設立し、普及・啓発事業の一環として纏向学セミナーを年2回実施してきました。</p> <p>令和4年4月に設立から10周年の節目を迎えたことを記念し、これまでに開催した纏向学セミナー14回分をまとめた書籍『纏向学からの発信 纏向遺跡から14人のメッセージ』が株式会社大和書房より刊行され、広く書店で販売されています。</p> <p>纏向学セミナーは外部より招いた講師による講演と、講演後におこなわれる講師と纏向学研究センター所長による対談の2本立てで構成されており、今回刊行の書籍でも講演部分と対談部分を合わせて収録しています。</p> <p>考古学だけにとどまらず、文献史学、自然科学分野など幅広いテーマを収めた1冊になっています。</p> <p>販売価格：5,800円（税抜き）</p>
ホームページ掲載	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 後日掲載（3月24日掲載予定）
問い合わせ先	<b>担当課</b> 教育委員会事務局 文化財課
	<b>取材対応者</b>
	<b>問い合わせ窓口</b> 文化財課 調査研究係（0744-45-0590）
その他	桜井市記者クラブに書籍『纏向学からの発信』1部を配架しています。



桜井市纏向学研究センター編

纏向遺跡から14人のメッセージ

# 纏向学 からの発信



「纏向遺跡」  
から見える  
古代日本

箸墓古墳を中心とした  
「纏向遺跡」の実相に迫る!

政治・経済・人・暮らし・  
建築・国際交流・宗教・動物植物  
14人のトップ研究者が、  
専門分野の最新成果を  
一冊に凝縮。

大和書房



ISBN978-4-479-84084-8  
C0021 ¥5800E



定価(本体5800円+税)

大和書房

- 1 文化遺産「纏向遺跡」の意義とその将来  
坂井秀弥 奈良大学名誉教授
  - 2 纏向王宮への道  
石野博信 奈良県立橿原考古学研究所研究顧問
  - 3 原倭国の形成と纏向遺跡  
森岡秀人 関西大学大学院非常勤講師
  - 4 花粉が語る纏向遺跡  
金原正明 奈良教育大学ESD・SDGsセンター研究員
  - 5 狗奴国からみた纏向遺跡  
赤塚次郎 NPO法人ニワネット理事長
  - 6 ヤマト王権と葛城の有力地域集団  
坂靖 奈良県立橿原考古学研究所主任研究員
  - 7 纏向以前 唐古・鍵遺跡と邪馬台国  
藤田三郎 田原本町埋蔵文化財センター長
  - 8 卑弥呼の鬼道と壺形墳の誕生  
辰巳和弘 元同志社大学歴史資料館教授
  - 9 前方後円墳の築造と葬送儀礼  
小山田宏一 大阪府立狭山池博物館館長
  - 10 倭女王卑弥呼の外交政策  
塚口義信 堺女子短期大学名誉学長・名誉教授
  - 11 動物からみた纏向遺跡  
宮崎泰史 元大阪府立狭山池博物館学芸員
  - 12 イト国からヤマトへ  
柳田康雄 國學院大學博物館学芸員教授
  - 13 神社のはじまりと纏向の王宮・王権  
黒田龍二 神戸大学大学院名誉教授
  - 14 古墳時代祭祀遺跡と伊勢神宮の原像  
穂積裕昌 三重県埋蔵文化財センター活用支援課課長
- 対談 桜井市纏向学研究センター 所長 寺沢薫

桜井市纏向学研究センターでは、「纏向学」の発信と普及・啓発事業の一環として、毎年一回、東京でフォーラムを、地元では年二回のセミナーを開催してきました。

セミナーは各分野の先生方の講演と私(所長=寺沢薫)との対談という二本立てで、おもに研究センターの共同研究員の方々を中心に、纏向遺跡の歴史的重要性にからむようなテーマでお話いただいたものです。本書の出版は2022年4月に纏向学研究センターが設立10年目を迎えるということで、記念事業の一つとしてこのセミナーの記録をかねて、セミナーに参加できなかった多くのかたがたにも纏向遺跡の重要性を広く知っていただくという目論見から企画されました。(「あとがき」より)